

2025 淡路島誘客プロモーション
AWAJI 島博 ロゴマークデザインの決定

2025年に開催される大阪・関西万博に合わせ、淡路島では地元主導により淡路島の豊かな自然、食、歴史・文化などの良さを堪能できる魅力的なコンテンツを揃え、全島を一体的にプロモーションする「AWAJI 島博」を実施することとしています。

このたび「AWAJI 島博」のシンボルとなり、島の一体感を醸成するロゴマークデザインの公募を実施したところ、全国から280作品の応募があり、専門家を含むロゴマーク選定委員会にて審査の結果、ロゴマークデザインが決定しました。

『AWAJI 島博 ロゴマーク』



優秀賞： ひがし 東 ようへい 洋平 様 （千葉県柏市） 職業：クリエイター

AWAJI 島博ロゴマーク 優秀賞 東 洋平 様のコメント

この度は、数多くの作品の中から私のデザインを選んでいただき、本当にありがとうございました。AWAJI 島博は、大阪・関西万博とは異なる視点で日本の姿を、淡路島から全世界にプロモーションする絶好の機会です。このロゴマークは、特産物の一つであるタマネギをモチーフに、果実、花、海などのイメージを組み合わせで描きました。何層にも重なるタマネギの球体のように、淡路島の多彩な風景、豊かな文化と歴史、地元企業や生産者の情熱が一体となり、未来に向けて花開くことを願って表現しています。デザインの円形の空白は、皆様の夢や希望を思い描く無限の可能性の象徴として、敢えて色をつけず白く残しました。島博終了後も引き続き、淡路島ブランドの発展と共に歩むシンボルとして親しんでいただけたら光栄です。

AWAJI 島博ロゴマーク選定委員会 委員長のコメント

2025年、淡路の地で風になびく姿が想像できる美しさ。タマネギをモチーフにしながらも別のものにも見えるフォルムと色使い。私はこのタマネギに「神話の世界」「日本の始まり」を感じました。美しさとは多義性。まさに旗印にふさわしいロゴマークだと思います。このロゴマークとともに「AWAJI 島博」が淡路の多様な価値を内外に発信する機会になることを願っております。

1 主催：AWAJI 島博実行委員会

(AWAJI 島博ホームページ URL：<https://www.awaji-shimahaku.jp/>)

2 ロゴマークデザイン募集期間：令和5年7月7日（金）～9月14日（木）[70日間]

3 応募作品数：280作品

4 選定委員会開催日：令和5年10月19日（木）

5 入賞作品

優秀賞	ひがし 東	ようへい 洋平	様	(千葉県柏市)
入賞	の もと 野本	たかや 貴哉	様	(埼玉県幸手市)
入賞	むらかみ 村上	せいごう 正剛	様	(東京都世田谷区)
選定委員特別賞	せんす 扇子	だいすけ 大介	様	(神奈川県横浜市)

※別紙 AWAJI 島博ロゴマーク 入賞作品一覧のとおり

採用されたロゴマークデザインについては、「AWAJI 島博」や「AWAJI 島博」に参加又は協力する多彩な取組、イベントなどのPRに活用します。

優秀賞

作 品	趣 旨	氏 名	住 所
	淡路島の特産物のタマネギをモチーフに、豊かな自然環境と、その中で息づく多様な生態系と多彩な風景をイメージ。花びらは生命と自然の美しさを象徴し、淡路島の魅力と進歩を広く伝えることを表現。また、長い歴史と伝統を支えてきた淡路の人々の努力、知恵が実る過程、アートやグルメ、新しいコンテンツの創成など、次々と生まれる島の進化する姿が鮮やかに花開く様子も重ねている。	ひがし ようへい 東 洋平 様	千葉県 柏市

入賞

作 品	趣 旨	氏 名	住 所
	AWAJI の文字を抽象的に表現し、波間に浮かぶ淡路島の島陰と光、太陽を表現。太陽は国生み神話からの日本も表わす。カラフルなトーンで楽しい雰囲気と温かみを醸し出し、淡路島の魅力である自然の豊かさや地域の賑わい、歴史を感じさせ、人々に淡路島の魅力を伝えることを意図している。	の も と た か や 野本 貴哉 様	埼玉県 幸手市
	自然・食・歴史・文化といった淡路島の多彩な魅力を、七色のリボンで象徴的に表現。フォルムは「島」という漢字で、「AWAJI 島博」をユーモラスにアピール。ロゴタイプもオリジナルで設計、直感的に「博覧会」というイベントを感じてもらえるように、AWAJI ISLAND EXPO 2025の英文も表記。	むらかみ せいごう 村上 正剛 様	東京都 世田谷区

選定委員特別賞

作 品	趣 旨	氏 名	住 所
	淡路島を空から俯瞰し、淡路の島を形から覚えてもらえる様なデザインとして構成。色調には、日本らしい配色で構成し、新しい『島』の誕生を浮き出してくる強い線で表現。	せんす だいすけ 扇子 大介 様	神奈川県 横浜市